

水道局の財務状況

(平成18年度決算)

水道事業は、皆様からお支払いいただいている水道料金を主な財源として独立採算により事業を運営しています。

平成18年度の営業活動での収益的収支は104億4,900万円の黒字となり、安定した経営内容となっています。

なお、安全で安定的なおいしい水づくりや施設の耐震強化を図るなどの建設・改良事業については、収支差が306億4,400万円の不足により、減価償却費等の現金支出を伴わない内部留保資金などを充当しました。

この主な実施事業としては、ちば野菊の里浄水場の建設を進めるとともに、配水管の整備や老朽管の布設替えなどを行なっていました。

この結果、以下のとおりとなりました。

業務状況

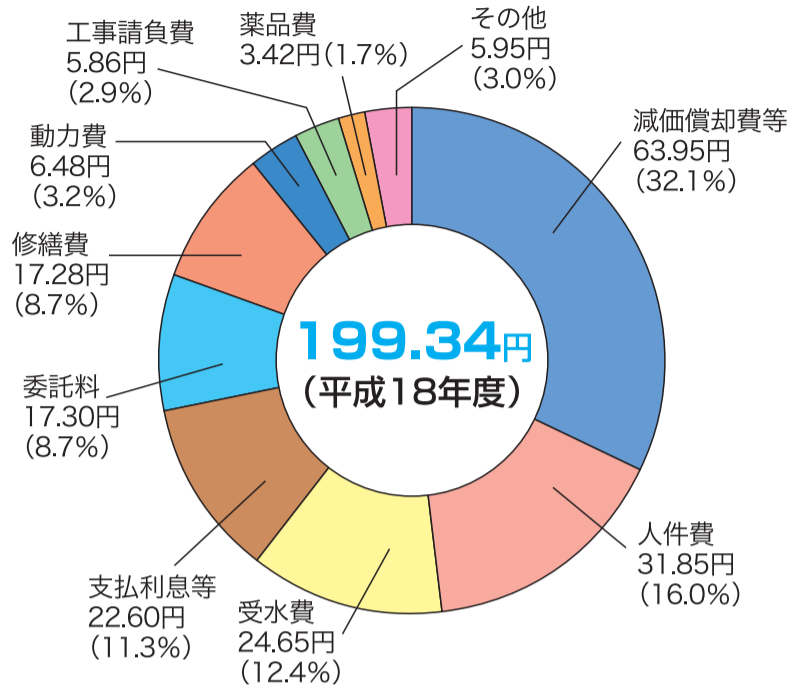
区 分	平成18年度 (A)	平成17年度 (B)	対前年度比較 (A-B)
給水人口 (千人)	2,831	2,808	23
年間給水量 (千m ³)	327,683	328,969	▲1,286
水道普及率 (%)	95.8	95.7	0.1
職員数 (人)	1,070	1,120	▲50

※業務状況は、年度末現在の数値です。

◆管理部財務課 TEL 043-211-8578

給水原価の構成

水道水を1m³つくるのに要した費用の内訳



上のグラフは、水道局がお客様のところへ水をお届けするために要した費用です。

千葉県水道局は全国的に見ても規模が大きく、保有する資産額が大きいため、減価償却費の占める割合も高くなっています。

水道事業では、施設の整備に多額の事業費が必要となりますので、その財源に充てた企業債の支払利息の割合が高くなります。

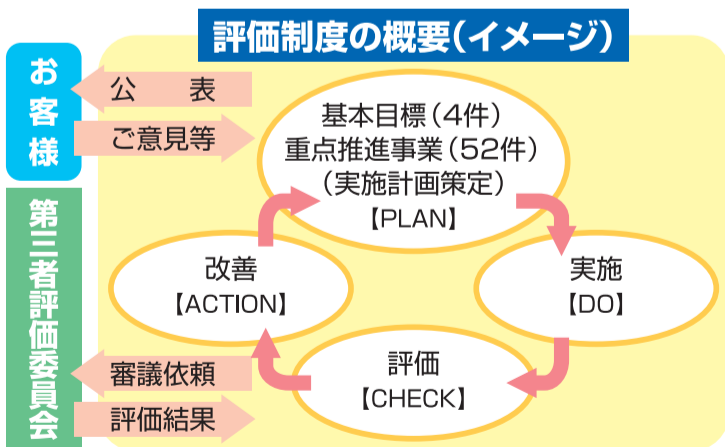
用語の解説

減価償却費

固定資産を耐用年数に応じて期間計算した費用が減価償却費です。なお、老朽化した配水管更新事業費などの財源として使用します。

中期経営計画の施策評価を実施しました!

「千葉県水道局中期経営計画」(計画期間:平成18年度~平成22年度)に基づいて実施している施策の平成18年度の達成状況等について、有識者等で構成する第三者評価機関による評価を実施し、4つの基本目標について、いずれも「妥当である(A評価)」という評価を頂きました。



評価結果は、ホームページ及び下記閲覧場所でも閲覧できます。

- ホームページ: <http://www.pref.chiba.lg.jp/suidou/zigyougaiyou/chukei.html>
- 閲覧場所: 県水道局管理部総務企画課政策室

◆管理部総務企画課 TEL 043-211-8363

「平成19年度環境報告書(平成18年度決算版)」を作成しました

水道事業は浄水場等の運転に電気を多く使用するなど、環境と大きな関わりを持っており、水道局では環境保全対策に積極的に取り組んでいます。お客様に水道局の環境施策についてご理解いただくため、「環境報告書」を毎年度発行しています。

閲覧・配布場所

- 水道局ホームページにPDFファイルを掲載します。
 - 給水区域内の主な公立図書館で閲覧できます。
 - 水道事務所、支所、県民センター(葛南、東葛飾、北総)、千葉県文書館で配布します。
- ※1月28日公表予定です。(A4版、全30ページ)

主な内容

- 環境保全への取り組み状況を紹介しています。
 - 環境会計を掲載しています。
- ※環境会計とは、環境保全の取り組みにどれだけのコストをかけ、その結果、環境負荷をどれだけ削減できたかを、可能な限り定量的に算出するしくみです。平成18年度の環境保全コストは約17億7千万円で、対策の結果、CO₂排出量1,507トン削減、浄水場発生土の有効利用量30,444トン(発生量の100%)などの環境保全効果が得られました。

◆管理部総務企画課 TEL 043-211-8363